

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年の3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

定時株主総会の基準日 毎年3月31日

剰余金の配当の基準日 期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載 URL
(<http://www.sanken-ele.co.jp/koukoku/index.htm>)

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

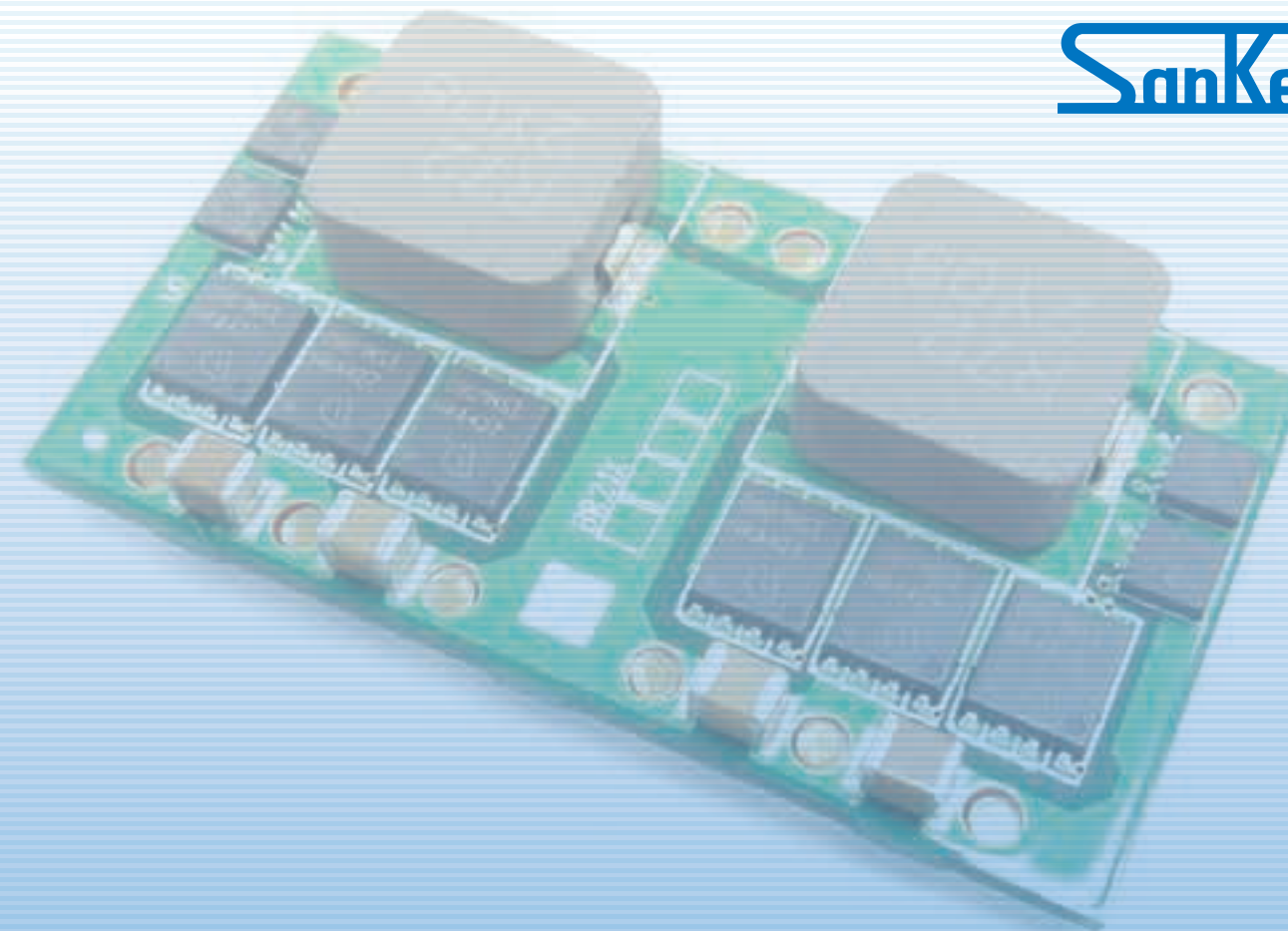
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

詳細につきましては、当社ホームページ (<http://www.sanken-ele.co.jp/>) をご確認ください。



サンケン電気株式会社

〒352-8666 埼玉県新座市北野三丁目6番3号
TEL (048) 472-1111



Sanken Report

第99期 報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

サンケン電気株式会社
証券コード：6707

ICT機器向けデバイス

スマートフォンなどの普及により情報量は急速に増加しており、ICT機器では、より高性能化が求められています。これに伴いFPGAやMCUの制御電源は、より大電流・高速負荷応答性が求められています。このような市場背景のもとに、当社では、より高速負荷応答性を備え、PMBus対応のハイパワー・高効率なPOL用DC/DCコンバータ[BR211]を開発・量産化いたしました。

成長市場への参入及び取り組みを強化し、 タイムリーな新製品展開で売上拡大を図ってまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。
ここに第99期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)の報告書をお届けするにあたり、
ごあいさつ申し上げます。

業績について

当社は、「戦略市場での売上拡大」と「最適生産の整備によるキャッシュ・フロー創出」を基本方針に掲げ、成長市場への参入・取り組み強化とタイムリーな新製品展開による売上拡大を図るとともに、当連結会計年度に稼働を開始した新業務基幹システムを活用して、最適かつ効率的な生産に努めるとともに、固定費削減に注力し財務の改善に注力してまいりました。

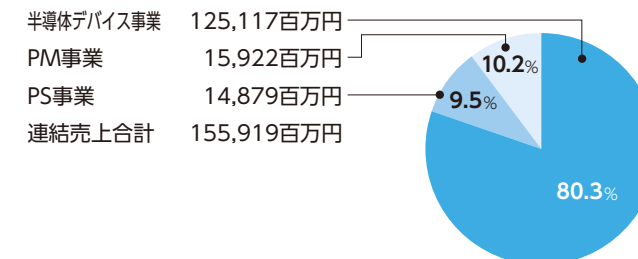
当連結会計年度の業績につきましては、半導体デバイス事業の売上高が中国市場の低迷などにより前期実績を下回って推移したことや、携帯電話基地局に関連した設備投資縮小の影響を受けてPS事業の売上高が落ち込んだことなどから、連結売上高は1,559億19百万円と、前連結会計年度と比べ48億4百万円(3.0%)減少いたしました。また、損益面につきましては、売上高減少に伴う利益減に加え、在庫削減に伴う子会社での工場稼働率低下や、購入薬液の汚染によりウエハの加工不良が発生したことに伴う利益減並びに不良ウエハ廃却費用の発生、さらにグループ内での各種構造改革に伴う特別損失計上等もあり、利益額が大きく減少いたしました。これらの結果、連結営業利益は68億3百万円と、前連結会計年度比43億96百万円(39.3%)減少し、連結経常利益は37億91百万円と、前連結会計年度比65億42百万円(63.3%)減少し、親会社株主に帰属する当期純利益は1億71百万円と、前連結会計年度比77億70百万円(97.8%)の減少となりました。



配当について

当社では、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要施策の一つと位置付け、将来に向けての事業展開と財務体質改善、ひいては経営全般の基盤強化を図る上で必要な内部留保を確保しつつ、収益力の向上を通じて、安定的かつ着実な配当の実施を基本的な考え方としております。しかしながら、当期の連結決算につきましては、購入薬液の汚染に伴う不良ウエハ廃却及びグループ内での各種構造改革による特別損失の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益が1億71百万円となり、前期比大幅に減少いたしました。また、個別決算につきましてはグループ内における各種構造改革の実行に伴い発生した会計処理の結果、11億78百万円の当期純損失を計上することとなりました。この状況を受け、配当原資となる個別純資産の状況や今後の業績向上に必要な投資額などを総合的に勘案し、当期の期末配当につきましては、誠に遺憾ながら、見送らせていただくことを決定いたしました。株主の皆様におかれましては、何卒、諸事情をご理解の上、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

■事業別売上高構成比



次期に向けて

業績向上と財務体質の強化に取り組めます

次期につきましては、不安定要素は払拭できないものの、世界経済は緩やかに拡大基調で推移するものと見込まれます。当社製品が関連する市場では、自動車や白物家電向け製品を中心に、需要は底堅く推移すると想定されます。こうした状況下、当社では、「2015年中期経営計画」に則り、業績向上と財務体質の強化に向けて全社一丸となって取り組んでまいります。2016年度の連結業績につきましては、売上高1,560億円、営業利益70億円、経常利益55億円、親会社株主に帰属する当期純利益25億円を予想しており、想定為替レートにつきましては、1ドル105円としております。



平成28年6月

代表取締役社長 和田 節

半導体デバイス事業

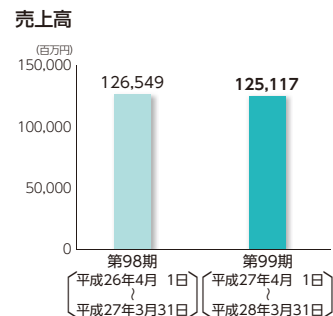
パワーIC、コントロールIC、ホールIC、バイポーラトランジスタ、MOSFET、IGBT、サイリスタ、整流ダイオード、発光ダイオード(LED)

売上高 **125,117**百万円(前期比1.1%減少)

- ・円安押し上げ効果もあり、自動車向け製品の売上が増加。
- ・エアコンなど白物家電向け製品、オフィス機器・産業機械向けやAV向け製品の売上が減少。



自動車向けデバイス



PM(パワーモジュール)事業

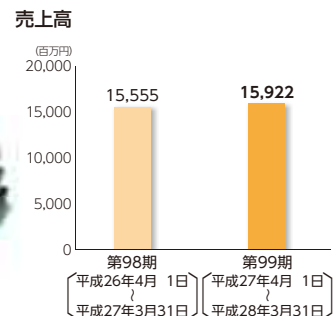
スイッチング電源、トランス

売上高 **15,922**百万円(前期比2.4%増加)

- ・オフィス用プリンター向け製品の販売が減少。
- ・産業機械向け製品は前期と同水準で推移。
- ・TV向けアダプター製品の販売が拡大。



スモールセル用電源



PS(パワーシステム)事業

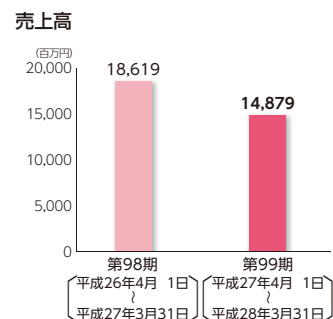
無停電電源装置(UPS)、インバータ、直流電源装置、高光度航空障害灯システム、各種電源装置・機器

売上高 **14,879**百万円(前期比20.1%減少)

- ・成長市場として注力する新エネルギー分野での販売が伸長。
- ・携帯電話基地局等の設備投資が縮小したことに伴い、主力の通信用電源製品の販売が減少。

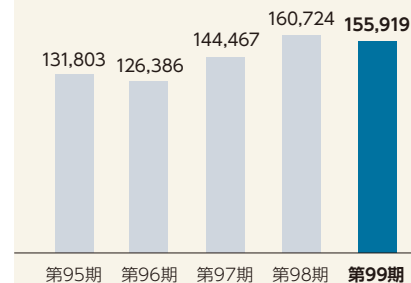


蓄電システム用双方向DC/DCコンバータ



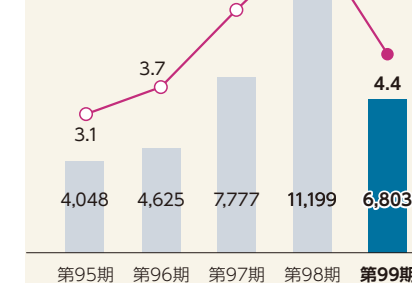
売上高

(単位:百万円)



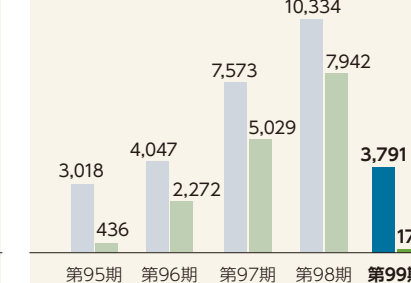
営業利益 ● 売上高営業利益率

(単位:百万円/%)



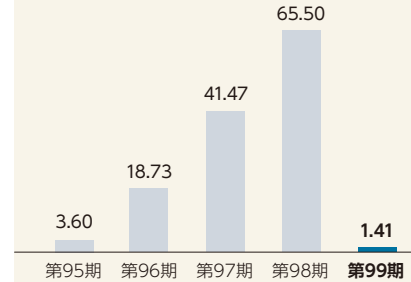
経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



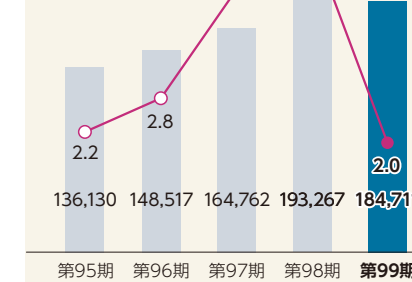
1株当たり当期純利益

(単位:円)



総資産 ● 総資産経常利益率(ROA)

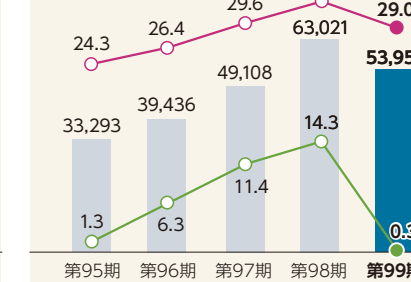
(単位:百万円/%)



純資産 ● 自己資本比率

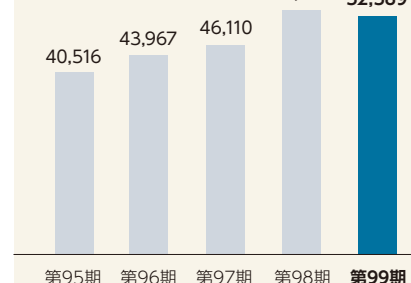
● 自己資本当期純利益率(ROE)

(単位:百万円/%)



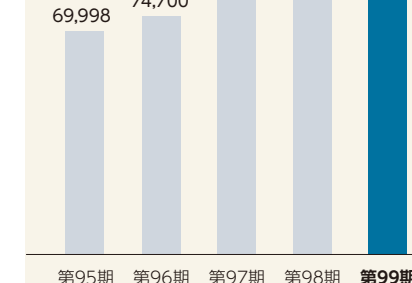
棚卸資産

(単位:百万円)



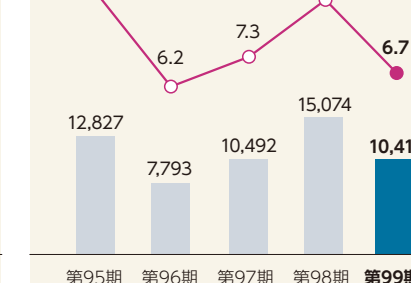
有利子負債

(単位:百万円)



設備投資額 ● 設備投資額売上高比率

(単位:百万円/%)



エコ・省エネを実現する製品を通じて環境保護に寄与

サンケングループは地域社会の良きパートナーを目指し、本業を活かしたCSR活動で地域との共生を図っています。

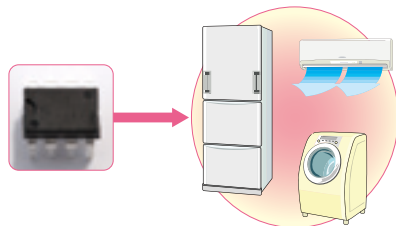
エコ・省エネを意識した「環境対応製品」

近年、エネルギー需要の増加に伴う環境破壊問題やエネルギー供給問題などを背景に、電源の効率を厳しく規制する動きが活発になっています。

モバイル機器、小型家電、通信機器に使われる外付け電源と呼ばれるアダプター類に関して、各国で義務規定が設けられていますが、欧州ECによるErP (Energy-related Products) 指令Lot7が最も厳しい要求となっています。

新製品STR 3A400シリーズは、装置の動作状態にかかわらず、すべての負荷状態で高効率に制御しているので、ErP指令Lot7対応はもちろんのこと、OA機器、白物家電、AV機器などのさまざまな用途の電源の高効率化に役立ちます。

今後も当社は各国の効率規格の動向に合わせた電源システムの開発を進め、製品を通じた環境保護に取り組んでまいります。



地元に着力した次世代育成活動

当社の技術及び半導体製品やLEDを活用した「省エネ環境教室+工作教室」を各地で開催しています。2015年度は特に「地元に着力」という方針のもと、当社グループの拠点所在地にて開催しました。

そのうち、埼玉県環境学習応援隊からの依頼で実施した一つをご紹介します。保護者、学校関係者からは「省エネやLEDについて良く理解できた」と感謝の言葉をいただいています。加えて、活動に参加した従業員も、子供たちの満足した笑顔に癒されています。



川崎市立上戸小学校

小学校4年生 77名 2015年6月18日(木)9時20分~12時

●内容 ① 省エネについて座学 ② ノーベル物理学賞の青色LEDってなんだろう ③ LEDを使った工作

当社技術を活用した地域貢献活動

当社製品のLED及び回路技術を活用したLED「ペットボトル®」と呼ばれるオリジナル商品を使用したイルミネーションイベントが行政主体で開催されています。石川県輪島市では5年前から、富山県富山市では3年前から実施されており、都度当社からは技術提供させていただいています。このたび、初めて福井県越前町でも開催され、これで北陸三県をまたぎ、四季を通してペットボトル®を楽しんでいただくことができるようになりました。

春 福井県越前町「水仙岬のかがやき」**NEW**

- 開催期間 2016年3月13日~2016年5月8日
- LEDペットボトル:9,500個

秋 冬 石川県「輪島・白米千枚田 あぜのきらめき」**5年目**

- 開催期間 2015年10月10日~2016年3月16日
- LEDペットボトル:21,000個

夏 富山牛岳温泉スキー場「虹のかけはし」**3年目**

- 開催期間 2015年7月25日~2015年9月6日
- LEDペットボトル:28,000個(7色)

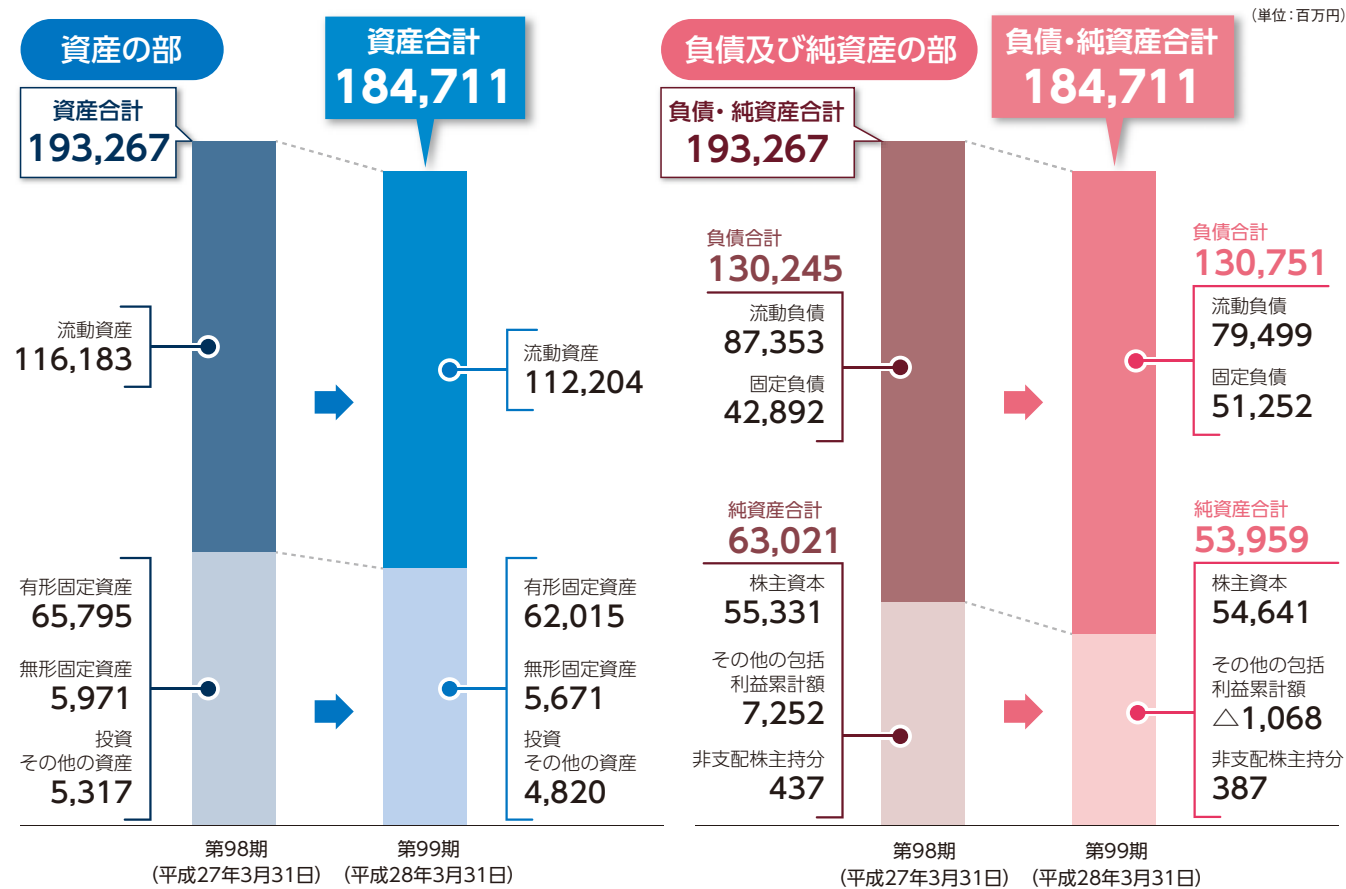
ペットボトル®

「ペットボトル®」の仕組みは容器に「太陽光パネル」、「充電電池」と「LED」を組み込んだもので、昼の太陽エネルギーで発電・蓄電し、暗くなるとLEDが自動的に点灯するというシンプルな発光装置です。化石燃料による発電ではなく、太陽光エネルギーを利用するものなので、地球環境に優しく経済的と大変評判をいただいております。

夏 富山牛岳温泉スキー場「虹のかけはし」**3年目**

- 開催期間 2015年7月25日~2015年9月6日
- LEDペットボトル:28,000個(7色)

連結貸借対照表の概要

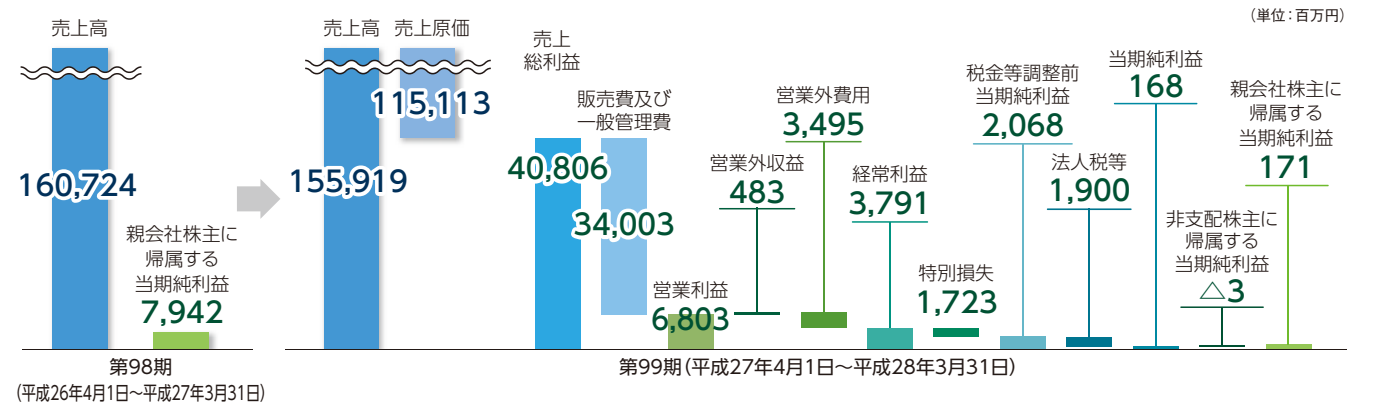


POINT 総資産は85億55百万円減少。自己資本比率は29.0%に低下

資産 流動資産：39億79百万円減少
主に商品及び製品が10億7百万円増加し、受取手形及び売掛金が34億89百万円、原材料及び貯蔵品が27億46百万円減少したことなどによるものです。
固定資産：45億76百万円減少
主に有形固定資産が37億80百万円、無形固定資産が2億99百万円、投資その他の資産合計が4億96百万円減少したことによるものです。

負債 負債：5億6百万円増加
主に1年内償還予定の社債が218億円、長期借入金が50億円増加し、短期借入金が59億35百万円、コマーシャルペーパーが185億円減少したことなどによるものです。
純資産 純資産：90億61百万円減少
主に為替換算調整勘定が40億89百万円、退職給付に係る調整累計額が41億9百万円減少したことなどによるものです。

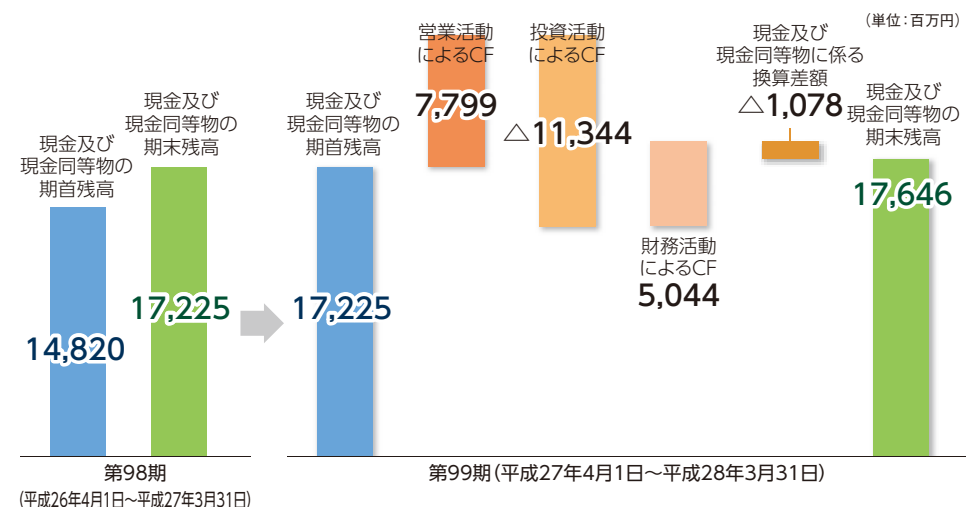
連結損益計算書の概要



POINT 売上高
半導体デバイス製品の売上は微減、PM製品は微増となりましたが、PS事業の主力製品の販売が減少したことなどにより、前連結会計年度比48億4百万円(3.0%)減少となりました。

POINT 親会社株主に帰属する当期純利益
購入薬液の汚染に伴う不良ウエハ廃却及びグループ内での各種構造改革による特別損失の計上により、前連結会計年度比77億70百万円(97.8%)の減少となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要



詳しい財務データは、当社ホームページの「IR情報」をご覧ください。
88期(平成17年3月期)からの決算短信、決算説明会、報告書、有価証券報告書・内部統制報告書、Annual Reportがご覧いただけます。
<http://www.sanken-ele.co.jp/>

会社の概要

商号	サンケン電気株式会社 (Sanken Electric Co., Ltd.)
本社	埼玉県新座市北野三丁目6番3号
設立年月日	昭和21年9月5日
資本金	20,896,789,680円
グループ従業員数	10,044名
主要取扱商品	〈半導体デバイス〉パワーIC、コントロールIC、ホールIC、バイポーラトランジスタ、MOSFET、IGBT、サイリスタ、整流ダイオード、発光ダイオード(LED)〈PM〉スイッチング電源、トランス 〈PS〉無停電電源装置(UPS)、インバータ、直流電源装置、高光度航空障害灯システム、各種電源装置・機器

事業所

川越工場	埼玉県川越市下赤坂大野原677番地 TEL(049)266-8111
東京事務所	東京都豊島区西池袋一丁目11番1号 メトロポリタンプラザビル TEL(03)3986-6151
大阪支店	大阪府大阪市北区梅田三丁目3番20号 明治安田生命大阪梅田ビル TEL(06)6450-4400
営業所	札幌／仙台／名古屋／金沢／広島／九州

主なグループ企業

石川サンケン株式会社／山形サンケン株式会社
 鹿島サンケン株式会社／福島サンケン株式会社
 サンケンオプトプロダクツ株式会社
 大連三壱電気有限公司
 サンケン ノースアメリカ インク
 アレグロ マイクロシステムズ エルエルシー
 ポーラー セミコンダクター エルエルシー
 サンケン パワー システムズ(ユークー)リミテッド
 ピーティー サンケン インドネシア
 韓国サンケン株式会社
 三壱力達電気(江陰)有限公司

役員 (平成28年6月24日現在)

取締役及び監査役

代表取締役社長	和田 節
取締役	星野 雅夫
取締役	鈴木 善博
取締役	鈴木 和則
取締役	曹路地 剛
取締役	高荷 英雄
社外取締役(非常勤)	リチャード R. ルーリー
社外取締役(非常勤)	藤田 則春
常任監査役	太田 明
監査役	鈴木 昇
社外監査役(非常勤)	和田 幹彦
社外監査役(非常勤)	武田 仁

執行役員

専務執行役員	星野 雅夫 (技術本部長)
常務執行役員	鈴木 善博 (海外事業戦略室長)
常務執行役員	鈴木 和則 (営業本部長)
上級執行役員	大内 博之 (パワーシステム本部長)
上級執行役員	曹路地 剛 (生産本部長)
上級執行役員	高荷 英雄 (管理本部長)
執行役員	佐々木 正宏 (技術本部開発統括部長)
執行役員	谷山 之康 (生産本部LED統括部長)
執行役員	村上 清 (管理本部副本部長兼総務人事統括部長)
執行役員	伊藤 茂 (パワーシステム本部/パワーマーケティング統括部長)
執行役員	折戸 清規 (営業本部副本部長兼名古屋営業統括部長)
執行役員	中道 秀機 (技術本部副本部長兼デバイスマーケティング統括部長 (ビジネスデベロップメント担当))
執行役員	金澤 正喜 (技術本部AMBD事業統括部長)
執行役員	岩田 誠 (生産本部デバイス生産統括部長)
執行役員	李明 濬 (技術本部副本部長)
執行役員	村野 泰史 (管理本部財務IR統括部長)
執行役員	坂内 哲男 (生産本部ものづくり技術統括部長)

株式の状況

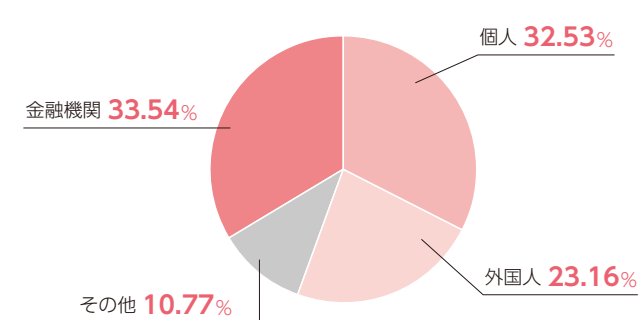
発行可能株式総数	257,000,000株
発行済株式の総数	125,490,302株
株主数	14,147名
単元株式数	1,000株

大株主

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,736千株	9.68%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,128千株	5.88%
株式会社埼玉りそな銀行	6,011千株	4.95%
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	2,735千株	2.25%
BARCLAYS BANK PLC A/C CLIENT SEGREGATED A/C PB CAYMAN CLIENTS	2,091千株	1.72%
チェース マンハッタン バンク ジーティーエス クライアント アカウント エスクロウ	1,865千株	1.53%
株式会社八十二銀行	1,556千株	1.28%
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,386千株	1.14%
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウント ジェイピーアールディ アイエスジー エフイーイーイー	1,289千株	1.06%
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,215千株	1.00%

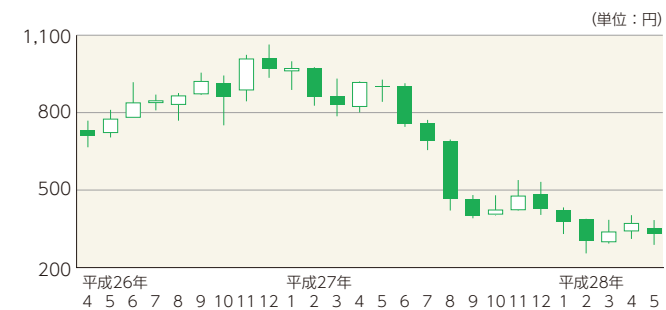
(注) 1. 当社は自己株式を4,275,417株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

所有者別分布状況

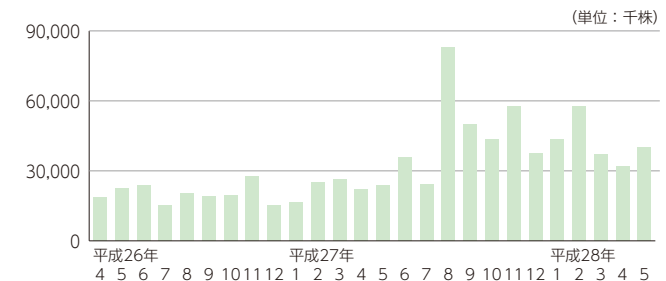


株価の推移

株価(月足)



月間出来高



所有株式数別分布状況

